

平成 31 年度

東北医科薬科大学大学院薬学研究科  
薬学専攻博士課程

学生募集要項

一般入学試験

(一次募集・二次募集)

社会人入学試験

# 【 薬学専攻博士課程 】

薬学専攻は、薬剤師を目指し医療の現場で活躍する人材の養成を主たる目標としている学部6年制「薬学科」の上に、平成24年4月に設置された博士課程（4年制）です。本専攻のアドミッションポリシー（入学者受入方針）、カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）、ディプロマポリシー（学位授与の方針）は以下のとおりです。

## ○ アドミッションポリシー

これからの高度先進医療を支え、将来、医療薬学分野での活躍を目指し、研究に意欲のある薬剤師を求めています。薬学部の6年制学科を卒業し薬剤師免許を有している者及び旧課程では薬剤師免許を有し、大学院博士前期課程（修士課程）を修了している者を対象としています。

## ○ カリキュラムポリシー

本教育課程では、薬学の高度な知識と技術を駆使しながら臨床的課題の探究と解決、その成果の医療への応用を目指しています。これからの高度先進医療のなかで、医療薬学の分野において臨床的課題を見出し研究していくことのできる薬剤師及び研究者を養成します。この目的のため、本課程では、病院での臨床薬学研修（半年間コース又は一年間コース）が必修であることが特徴です。臨床薬学研修では、病棟での医師の診療に同席して疾病の診断と治療の流れを理解し、看護師の活動に同席して患者中心の医療全体を把握し、フィジカルアセスメントを実践し、担当患者に関するカンファレンスに参加するなどの病棟活動プログラムとなっています。研修後には発表会で学修成果のプレゼンテーションを行い、研修結果を論文としてまとめます。この研修成果を活かしながら、より高度な臨床的視点から研究課題を発見し、薬学専門研究へと発展させます。大学での教育・研究と医療現場での研修とを密接に連携させ、教育・研究を効率的に進めていきます。また、希望する研究課題が基礎薬学的な研究と関連する場合は薬科学専攻の協力研究室と連携し、自由にその課題を追究していくことが可能です。

## ○ ディプロマポリシー

本学の教育理念に基づく教育課程を通して、薬学領域の専門的知識を活用しながら高度先進医療を推進し、臨床的課題を自ら研究できる薬剤師及び研究者としての能力を身につけ、所定の単位を修得し、博士学位論文の審査に合格した学生に学位（博士（薬学））を授与します。

## 1. 入試日程

入試区分	出願期間	試験日	合格発表
一般入学試験 (一次募集)	平成30年7月23日(月) ～平成30年7月27日(金)	平成30年8月24日(金)	平成30年8月31日(金)
一般入学試験 (二次募集)	平成31年1月9日(水) ～平成31年1月16日(水)	平成31年1月29日(火)	平成31年2月6日(水)
社会人入学試験			

## 2. 募集分野

専攻科目	<ul style="list-style-type: none"><li>・臨床分析化学</li><li>・機能形態学</li><li>・医薬情報科学</li><li>・臨床薬剤学</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・微生物学</li><li>・病態生理学</li><li>・薬物動態学</li><li>・臨床感染症学</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境衛生学</li><li>・生薬学</li><li>・薬剤学</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・薬理学</li><li>・放射薬品学</li><li>・薬物治療学</li></ul>
------	---	---	--	--

以上 14 研究室

## 3. 出願手続等

### (1) 出願期間

上記1. 入試日程の通り。

### (2) 提出先

〒981-8558

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部教務課 宛

郵送の場合は、必ず書留郵便とし「薬学専攻博士課程願書在中」と朱書きすること。

【持参の場合】 受付時間は平日午前9時から午後5時15分までとする。

### (3) 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

提出書類	一般入学試験	社会人入学試験
① 入学志願票(本大学院所定の用紙)	○	○
② 健康診断書 本学在學生は健康診断証明書。	○	○
③ 卒業(見込)証明書 修士課程を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。	○	○
④ 学部成績証明書 修士課程を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。	○	○
⑤ 入学検定料(35,000円) 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。	○	○
⑥ 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度) 各選考の出願資格(2)に該当する者のみ。(6,7ページ参照)	○ (該当者のみ)	○ (該当者のみ)
⑦ これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由) 各選考の出願資格(2)または(3)に該当する者のみ。(6,7ページ参照)	○ (該当者のみ)	○ (該当者のみ)
⑧ 所属長等の受験許可書(形式自由)		○
⑨ 所属長等の推薦書(形式自由)		○
⑩ 本大学院が選考に必要と判断した書類 提出が必要な場合、出願者に別途指示する。	○ (指示のある場合のみ)	○ (指示のある場合のみ)

### (4) 出願上の注意事項

- ① 出願書類の請求は東北医科薬科大学学務部教務課宛に返信用として140円分の切手を同封のうえ、申込むこと。
- ② 出願書類を郵送する場合は受験票を本人宛に郵送するので、返信用として82円分の切手を同封すること。
- ③ 志願者は、希望研究室責任者と必ず事前に相談すること。
- ④ 志願票の志望教室記入欄は、第1、第2希望の研究室まで記入すること。
- ⑤ 募集要項の詳細については東北医科薬科大学学務部教務課まで問い合わせること。

### (5) 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記載されている個人情報は、大学院入試事務・統計及び学籍情報管理のために使用される。

## 4. 納付金

平成30年度入学者 納付金一覧表 (参考)

	博士課程	摘要
入学検定料	35,000	
入学金	200,000 (100,000) ※	入学時のみ納入
授業料	780,000	年額

※ 入学金についての ( ) 内は、本学学部卒業者の納付額とする。ただし、博士課程の入学金については本学大学院博士課程前期課程(修士課程)修了者は免除する。

## 5. 問い合わせ先

〒981-8558

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部教務課

TEL:022-234-4181 FAX: 022-275-2013

## 6. 主な研究テーマ

〔研究室名〕 研究室責任者名	研 究 テ ー マ
〔臨床分析化学〕 教授 藤村 務	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床領域におけるバイオマーカーの探索</li> <li>マルチオミクス解析を利用したバイオマーカーの探索</li> <li>ステロイドホルモンの超高感度分析法の開発ならびに体内動態の解析への応用</li> </ul>
〔微生物学〕 教授 久下 周佐	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸化ストレス応答機構（酵母細胞、哺乳動物細胞、マウス）の解明</li> <li>酸化ストレスによる代謝制御（酵母細胞、哺乳動物細胞）の解析</li> <li>C型肝炎ウイルスタンパク質による肝細胞代謝変化、発がん機構の解明</li> </ul>
〔環境衛生学〕 教授 永田 清	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物や環境汚染物質などによる薬物代謝酵素誘導の分子メカニズム解析</li> <li>化学物質による催奇形成発現の分子メカニズム解明</li> <li>健康食品による薬物相互作用の研究</li> <li>iPS細胞等を用いた新規ヒトの副作用・毒性発現予測システム手法の開発</li> </ul>
〔薬理学〕 教授 丹野 孝一	<ul style="list-style-type: none"> <li>脊髄疼痛伝達機構における生理活性ペプチドの役割の解明</li> <li>精神神経疾患モデル動物の作製とその発症機序の解明</li> <li>モルヒネ鎮痛耐性形成機構の解明</li> </ul>
〔機能形態学〕 教授 溝口 広一	<ul style="list-style-type: none"> <li>副作用の少ない新規強力鎮痛薬の開発</li> <li><math>\mu</math> オピオイド受容体スプライスバリエーションの機能解析</li> <li>難治性疼痛発現機構の解明</li> <li>難治性内臓痛の病態解明と治療薬の開発</li> <li>掻痒のメカニズム解明と特異的治療薬の開発</li> </ul>
〔病態生理学〕 教授 高橋 知子	<ul style="list-style-type: none"> <li>気管支喘息増悪因子による病態修飾の解析と新規治療戦略の開発 性差：アレルギー性免疫応答の『性』特異的制御機構の解明 心理的ストレス：脳科学と免疫アレルギー学の橋渡し研究による新たな喘息病態の探求</li> <li>ヒト機能細胞の老化メカニズムの解明と不死化細胞の応用</li> </ul>
〔生薬学〕 教授 佐々木 健郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢方方剤とその構成生薬の有効成分及び作用機序の解明</li> <li>モンゴル薬用植物及び東北地方の薬用植物における有用成分の探索と有効利用に関する研究</li> <li>植物由来の機能性分子を応用した新規保健衛生用品及び医薬品の開発</li> </ul>
〔放射薬品学〕 教授 山本 文彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>高分子ミセルを用いた核医学分子イメージング剤および内用放射線治療剤の開発</li> <li>低分子リード化合物を用いた新規分子イメージング剤開発と機能評価</li> <li>生体レドックス動態を反映する分子イメージングプローブの創製</li> <li>放射線耐性細胞の増殖能獲得メカニズムの解明</li> </ul>
〔医薬情報科学〕 特任教授 佐藤 憲一	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の基本的検査セットを用いた新しいスクリーニング法の開発と臨床応用 (甲状腺機能異常、副腎皮質機能異常、ほか)</li> <li>医薬品情報のビジュアル化による各種医薬品情報の体系的解析と臨床応用</li> <li>投薬による神経回路作動変化のコンピュータシミュレーションと臨床応用</li> </ul>
〔薬物動態学〕 教授 富田 幹雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>消化管吸収の制御因子修飾による薬物の吸収性改善と病態時の制御およびその機構論的研究</li> <li>薬物トランスポーターの遺伝子多型と薬物の生体膜透過ならびに疾患との関連性に関する研究</li> <li>腎不全進行抑制を目的とした尿毒症物質の代償性排泄経路の解明とその誘導に関する研究</li> <li>多糖類の膜透過機構に立脚した抗がん剤の Passive Drug Delivery System の開発研究</li> </ul>
〔薬剤学〕 特任教授 鈴木 常義	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品の品質に関する製剤学および薬物動態学的研究</li> <li>処方せん調剤薬品の保管状態による成分安定性に関する研究</li> <li>医薬品の配合変化や製剤の安定性に関する研究</li> </ul>

〔研究室名〕 研究室責任者名	研 究 テ ー マ
〔薬物治療学〕 教授 原 明義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規抗がん物質の検索と細胞障害発現のシグナル伝達機構の解明</li> <li>・新規耐性マーカー ARF-GEP 100の発現機構と生理学的意義の解明</li> <li>・抗がん薬の心毒性を軽減する薬物とその作用メカニズムの解明</li> </ul>
〔臨床薬剤学〕 教授 中村 仁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品情報の再評価とそれに基づく新たなデータベースの構築</li> <li>・薬物療法の適正化を目的とした医薬品の使用実態調査及び薬剤疫学的研究</li> <li>・副作用症例の解析と発現防止に関する研究</li> <li>・薬物療法に関わる患者状態評価指標の研究</li> </ul>
〔臨床感染症学〕 教授 藤村 茂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難治性の細菌感染症に対する新しい抗菌化学療法の開発</li> <li>・PK-PD 理論の臨床応用に向けた各種抗菌薬の PK-PD パラメータ解析</li> <li>・抗菌化学療法における耐性菌出現メカニズムの基礎的・臨床的研究</li> </ul>

# I 一般入学試験

## 1. 募集人員 3名

## 2. 入試日程

入試区分	出願期間	試験日	合格発表
一次募集	平成30年7月23日(月) ～平成30年7月27日(金)	平成30年8月24日(金)	平成30年8月31日(金)
二次募集	平成31年1月9日(水) ～平成31年1月16日(水)	平成31年1月29日(火)	平成31年2月6日(水)

## 3. 出願資格

- (1) 大学の6年制薬学部を卒業した者または卒業見込の者で、薬剤師免許を有する者または取得見込の者
- (2) 薬学の大学院博士課程前期課程（修士課程）を修了した者で薬剤師免許を有する者
- (3) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、薬剤師免許を有し平成31年4月1日時点で24歳に達している者

※ 出願資格(3)に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を平成30年6月15日(金)（一次募集）、平成30年12月14日(金)（二次募集）迄提出すること。

## 4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断書：本学在学学生は健康診断証明書。
- (3) 卒業(見込)証明書：修士課程を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。
- (4) 学部成績証明書：修士課程を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。
- (5) 入学検定料(35,000円)：出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。
- (6) 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度)：出願資格(2)または(3)に該当する者のみ。
- (7) これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由)：出願資格(2)または(3)に該当する者のみ。
- (8) 本大学院が選考に必要と判断した書類：提出が必要な場合、出願者に別途指示する。

## 5. 入学者選考方法

### (1) 選考方法

外国語(英語)の筆記試験、小論文および面接を総合判定する。

### (2) 試験日程

試験日	時間	科目	試験場
(一次募集) 平成30年8月24日(金)	9:00～10:00	外国語(英語)	東北医科薬科大学 小松島キャンパス (〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1)
(二次募集) 平成31年1月29日(火)	10:30～12:00	小論文	
	13:00～	面接	

## 6. 奨学金制度、リサーチ・アシスタント制度

日本学生支援機構奨学金、東北医科薬科大学創設者高柳義一奨学金、東北医科薬科大学リサーチ・アシスタント制度に応募することが出来る。



## Ⅱ 社会人入学試験

### 1. 募集人員 若干名

### 2. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表
平成31年1月9日(水) ～ 平成31年1月16日(水)	平成31年1月29日(火)	平成31年2月6日(水)

### 3. 出願資格

研究機関、企業、病院など同種の業種において1年以上（入学時点）勤務しており、入学後も所属長等の許可を得て、引き続き在職できる者で、かつ次のいずれかの条件を満たしている者

- (1) 大学（6年制薬学部）を卒業した者で、薬剤師免許を有する者
- (2) 大学院薬学研究科博士課程前期課程（修士課程）を修了した者で薬剤師免許を有する者
- (3) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、薬剤師免許を有し平成31年4月1日時点で25歳に達している者

※ 出願資格(3)に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を平成30年12月14日(金)迄提出すること。

### 4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断書
- (3) 卒業(見込)証明書：修士課程を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。
- (4) 学部成績証明書：修士課程を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。
- (5) 入学検定料(35,000円)：出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。
- (6) 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度)：出願資格(2)または(3)に該当する者のみ。
- (7) これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由)：出願資格(2)または(3)に該当する者のみ。
- (6) 所属長等の受験許可書(形式自由)
- (7) 所属長等の推薦書(形式自由)
- (8) 本大学院が選考に必要と判断した書類：提出が必要な場合、出願者に別途指示する。

### 5. 入学者選考方法

#### (1) 選考方法

小論文および面接を総合判定する。

#### (2) 試験日程

試験日	時間	科目	試験場
平成31年1月29日(火)	10:00～12:00	小論文	東北医科薬科大学 小松島キャンパス (〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1)
	13:00～	面接	